

## 重点施策 1 3 学校再編に向けた取組と魅力ある学校づくり

### 現状と課題

社会が大きく変化する中で、学校における教育活動は多岐にわたり、直面する課題も様々です。このような中で、学校教育目標を実現するためには、学校の組織力を強化するとともに、優秀な管理職を確保・育成していく必要があります。そして、校長のリーダーシップに基づく学校づくりの推進が求められ、校長を中心とした「チーム学校」づくりがそれにあたります。また、学校と家庭・地域との連携・協働によってともに子供の成長を支えていく体制をつくりあげます。

本町においては、学校等問題検討委員会から、教育課題について意見書が3点提出されました。その中の、中学校の給食棟の老朽化対策、については、中学校の給食は親子方式とし小学校の給食室を使用することとし、技術・家庭科棟の耐震化対策については、27年度末に工事を完了しました。2小学校の再編については、睦沢町総合教育会議等の協議を経て、平成30年度より睦沢町立睦沢小学校を開校することが決定しました。今後は、魅力ある学校づくりとして教育課程などのソフト面で小中一貫教育を視野に入れた検討を課題とします。

### 基本目標

施策指標	指標の定義 ・選定理由	目標値の根拠	現状値 (平成27年度)	目標値 (平成31年度)
学校評価・ 学校関係者 評価の結果 を、複数方法 での公表	学校評価・学校関係者評価の結果を複数の方法で公表している学校名。 学校評価・学校関係者評価を、更に積極的に公表し、それに基づく改善を一步進めることが重要であることから、この指標を選定した。	すべての学校において学校評価・学校関係者評価の結果をホームページおよび他の方法で公表することを目標とした。	複数の方法で公表する学校は1校	すべての学校

### 施策の方向性

- ◇ 学校の組織力を強化するための組織体制の整備・充実（チーム学校）について検討を行うとともに、リーダーシップを発揮できる管理職を育成します。
- ◇ 各学校において、学校評価を効果的に学校運営などに活用できるように取り組みます。
- ◇ 各学校の示す「目指す学校像」「重点目標」の実現に向け、学校運営や教育活動の自律的、継続的な改善に役立てるため学校評価の活用を図ります。

- ◇ 「睦沢町立小学校の適正規模・適正配置に関する方針」(\*6)に基づき、段階的に計画の推進を図ります。
- ◇ コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を中心とした新しい仕組みの学校経営に取り組みます。また、中学校にも導入することを視野に入れた検討を始めます。

#### 主な取組

- ◇ 管理職の的確なリーダーシップの下、教職員一人一人の業務を有機的に結び付け、より一層、学校が組織的に動けるように学校の組織体制の整備・充実について検討します。
- ◇ 「学校評価」及び「学校関係者評価」の結果が複数の方法で公表され、学校運営などに効果的に活用されるよう指導・助言します。
- ◇ 睦沢小学校の運営や課題に対しては、広く保護者や地域住民が参画できる仕組みとしてコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入します。ここでは、参加者が、当事者意識を持ち、主体的に小学校の課題や特色ある活動を展開します。特に授業や、放課後、長期休業中の学習サポートをはじめ環境整備、登下校の安全等に対する支援ボランティア等の活動の充実を図ります。
- ◇ 平成30年4月、睦沢小学校の開校により、園小中各1校となることから、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの円滑な推進や、中一ギャップの解消を柱にした、園・小・中連携教育から、「睦沢町園・小・中一貫教育」を目指した、0歳児から15歳児まで連続した質の高い教育を施すために、町部局と連携を図り調査研究を開始します。とりわけ、教育課程などのソフト面での「小・中一貫教育」については、平成31年度中にその方向性を示します。

\*6 睦沢町立小学校の適正規模・適正配置に関する方針 睦沢町教育委員会で策定した小学校再編へ向けた基本方針  
(平成27年12月策定)